



燈籠に火を灯している様子

伊勢崎市という歴史ある街の良さを市民の皆さんに知ってもらうため、参加型のイベントとすることを心がけています。蠟燭の火は

市民の皆さんの参加

なっています。使用する燈籠は、切り絵燈籠、銘仙燈籠、竹づつ燈籠、竹織燈籠、ハロウィン燈籠など、毎年新しいものを作っています。最近では群馬交響楽団の弦楽四重奏に来ていただいたりと、1年1年少しずつ何かを進化させながら取り組んでいます。

地域づくりに取り組む中でいろいろな人に出会えました。一人ではどうにもならないことが、みんなと同じ目標に向かっていくと実現できるという場面に立ち会うことができました。実行委員会は、独自の活動をしていた団体が集まっていますので、得意分野も性格も様々です。それぞれが得意な分野で力を発揮することにより、ものすごい力になります。誰か一人でも欠けていたら燈華会はでき

様々な人との出会い

参加者の皆さんにつけてもらっていますし、片付けも皆さん笑顔で手伝ってくれます。食べ物についても、地元の高校の生徒さんや地域の商店街の皆さん、障害者施設の皆さんにお願いをしています。皆さんに協力をいただいた時は本当に感謝しますし、心に栄養をいただける気がします。市民の皆さんが朝早くから夜遅くまで必死に取り組む姿は本当に印象に残っています。地域づくりに取り組んできて良かったと思える瞬間です。

「銘仙織出す伊勢崎市」と、子どもから大人まで上毛かるたの句を知っていても、銘仙がどういうものか知らない人が多いと思うのです。銘仙を燈籠やファッションショーとして人の目に留まるようにすることにより、興味を持ってくださる、そういうものを大切にしていきたいです。

地域の伝統・文化を大切に

燈華会のイベントの1つとして伊勢崎銘仙を使ったファッションショーを開催していました。このイベントは今では独立して「いせさき銘仙の日」のメインイベントとして、毎年3月の第一土曜日に開催しています。こちらもみんなで取り組んでいます（高木さんは総合プロデューサー）。地元で生活をしていながら、銘仙をはじめ伊勢崎市のすばらしい伝統や文化を知っている方が少ないと思っています。「銘仙織出す伊勢崎市」と、子どもから大人まで上毛かるたの句を知っていても、銘仙がどういうものか知らない人が多いと思うのです。銘仙を燈籠やファッションショーとして人の目に留まるようにすることにより、興味を持ってくださる、そういうものを大切にしていきたいです。

最後に一言

燈華会も来年10年目を迎えます。ようやく皆さんに「うかえ」と読んでいただけたようになります。地域に根付いてきたと感じています。地域の方というのは住民がどれだけ地元を愛しているかに尽きると思います。「伊勢崎市にはこんなに良いイベントがあるんだよ」と多くの人に言っていただけのように、これから歴史と文化を大切にしながら取り組んでいきたいと思っています。そしていつの日か、伊勢崎銘仙を世界にPRできたらと思っています。

WHO IS NEXT?

次にバトンが渡る人は誰でしょう?

次号をお楽しみに!!

地域づくりをはじめたきっかけ

平成17年1月の伊勢崎市の市町村合併に伴い、市民活動に対して市から補助金が出されました。杉原さんが会長を務める街づくり市民ゼミナールが中心市街地活性化のために「街はみんなのギャラリーだ！」をテーマに活動していましたが、「いせさき燈華会（とうかえ）」というイベントを行うために、観光物産協会や商店街の



「光のページェント実行委員会」高木 照子さん

組織等と手を組み新しい街づくり組織として「光のページェント実行委員会」を設立しました。その時に声をかけられたことがきっかけです。それまでは全く地域づくり活動をしていませんでしたので、地域づくりがこんなにも素晴らしいものだと知りませんでした。皆さんから、私の見た目も中身も変わったと言われ、この年が私のボランティア元年です。多くの活動がこの補助事業による助成を受けましたが、2年目以降継続してい

るのは私たちの「燈華会」だけだと思います。これはひとつの自慢です。

静と動のまつり「いせさき燈華会」

平成17年から、毎年10月の第3土曜日、日曜日に「いせさき燈華会」を開催しています。いせさき明治館を中心に周辺道路や広場に何千ものろうそくの火を灯すことのほか、歴史的な建物内での芸術作品の展示や音楽会、阿波踊りなど地域文化創造イベントを実施し、「静と動のまつり」として、老若男女が参加して楽しめる内容と



左から杉原さん、高木さん、金井さん

「人との出会い・ふれあい、地域づくりは心の栄養」

「光のページェント実行委員会」高木 照子さん

地域づくり人物リレーは、県内で地域づくり活動をしている方を取材し、紹介してまいります。第17回目は、高木照子さんにスポットを当て、「光のページェント実行委員会」で中心となって活躍する杉原みち子さん、伊勢崎観光物産協会の金井珠代さんを含めた3名の皆様にお話を伺いました。

